

国指定史跡 **上神主・茂原官衙遺跡**

宇都宮市との市町境にまたがる、奈良時代を中心とした役所の遺跡です。平成15(2003)年に国の史跡に指定されました。中央には事務が行われていた政庁、南には税物を保管していた倉庫の正倉、北には関連施設が広がり、遺跡の南東側には、都と東北地方を結ぶ幹線道路である東山道跡と思われる道路跡が確認されています。

正倉の大型瓦葺建物跡からは、人名が刻まれた文字瓦が大量に発見されています。全国的に見ても非常に珍しく貴重な遺跡です。

(住所:大字上神主387ほか、現地駐車場なし)



国登録有形文化財 **生沼家住宅**

生沼家は、江戸時代からの歴史を持つ商家です。国登録有形文化財に登録された、町を代表する大正時代の商家建築である店舗および主屋、土蔵のほか、戦後に東京より移築された茶室や大谷石蔵、庭園があり、趣深い雰囲気を作り出しています。

生沼家は肥料・太物・荒物販売などのほか、質屋などさまざまな事業を展開しました。また、近代化技術の導入に積極的で、私財を投じて町の近代化に大きく貢献しました。近代の町の発展を語る上では欠かせない存在です。

11月11日(土)に特別公開します。詳しくはP33参照。

(住所:大字上三川4978-1、普段は外観のみ)



町指定史跡 **かぶと塚古墳石室**

住宅街の一角に突如出現したかのような、存在感のある巨大な石で作られた横穴式石室が目をひく「かぶと塚古墳」は、直径約40mの円形の古墳でした。現在は古墳の盛土が取り除かれていますが、かつては2段に土を盛り上げた形をしており、その見た目が兜に似ていたことから「かぶと塚古墳」と呼ばれるようになりました。

かぶと塚古墳と似た形状として、壬生町の国指定史跡である愛宕塚古墳が知られています。

(住所:大字上三川3223-10、現地駐車場5台分あり)



文化の薫り高いまち「かみのかわの文化遺産」

本町には、国指定文化財1件、国登録有形文化財2件、県指定文化財3件、町指定文化財47件など、数多くの文化財があります。そして、世界的創作折り紙作家吉澤章さんの作品を所蔵しています。

今回はそのうちの3つの文化財と吉澤章さんについて紹介します。ぜひ皆さんの身近にある文化遺産を感じてください!

吉澤さんの作品

常設展示スペースが令和6年5月オープン予定のORIGAMIプラザ内にできます!!

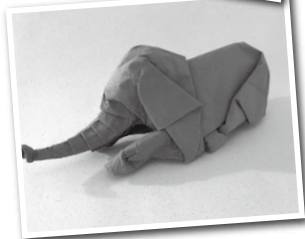


よしざわ あきら **吉澤 章 さん**

吉澤章さんは、本町出身の世界的な創作折り紙作家です。日本国内における創作折り紙の第一人者であり、折り紙を世界中に普及させることに尽力し、「ORIGAMI」が世界共通の言葉となることに多大な貢献をした人物です。

国内外問わず、精力的に創作活動を行い、折り紙文化の普及とともに国際交流の面でも大きな功績を残しました。

現在、町では、ご遺族より寄贈いただいた約500点の作品を所蔵しており、「ORIGAMIのまち かみのかわ」の着想の原点にいる方です。



▶問い合わせ先=生涯学習課 文化係(中央公民館) ☎3510